

学位:修士(海事科学)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、海事科学研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通科目として必要と認める科目を開設する。各科目の主な学修目標は次のとおりとする。
 - 自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力、他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力、コミュニケーション力、科学的論理的な思考力、専門知識の展開力、報告書の作成力とプレゼンテーション力、複眼的に思考する能力を身につけることができるよう、特定研究、論文研究を開設する。
 - 異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力、文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力を身につけることができるよう、先端融合科学特論、国際海事社会学、インターンシップを開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の3コースにそれぞれ専門科目を開設する。
 - グローバル輸送科学コースでは、世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献できる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。
 - 海洋安全システム科学コースでは、理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保ができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。
 - マリンエンジニアリングコースでは、工学に基礎を置き、海や船に関わる産業分野の発展に寄与する新たな学問分野の開拓と技術開発のために、船舶海洋関連システムの開発、設計、管理を行うことができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

学位:博士(海事科学)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、海事科学研究科博士後期課程は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通科目として必要と認める科目を開設する。各科目の主な学修目標は次のとおりとする。
 - 自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力、他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力、独創性や創造性の高い研究課題の設定・提案力、研究計画の構築力と研究実施能力、科学的論理的な思考力、専門知識の展開力と応用力、報告書の作成力とプレゼンテーション力、複眼的に思考する能力を身につけることができるよう、特定研究を開設する。なお、特定研究の内容は、海事に関わる高い専門性を有するものとする。
 - 異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力、文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力を身につけることができるよう、総合演習、インターンシップを開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の3コースにそれぞれ専門科目を開設する。
 - グローバル輸送科学コースでは、世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献できる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。
 - 海洋安全システム科学コースでは、理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保ができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。
 - マリンエンジニアリングコースでは、工学に基礎を置き、海や船に関わる産業分野の発展に寄与する新たな学問分野の開拓と技術開発のために、船舶海洋関連システムの開発、設計、管理を行うことができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

また、各コースの専門性に基づいた研究指導教員による個別指導および各学年で開催される研究報告会での複数教員による研究進捗状況の把握と指導など、研究科共通カリキュラムによる指導の他、国内外の専門学会での研究成果発表・情報収集活動への参加や学会誌への論文投稿に対する積極的な教育研究支援など、高度な専門性と共に研究実施能力を育む指導によって学位論文提出へ導く体制としている。

学位:博士(工学)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、海事科学研究科博士後期課程は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通科目として必要と認める科目を開設する。各科目の主な学修目標は次のとおりとする。
 - 自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力、他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力、独創性や創造性の高い研究課題の設定・提案力、研究計画の構築力と研究実施能力、科学的論理的な思考力、専門知識の展開力と応用力、報告書の作成力とプレゼンテーション力、複眼的に思考する能力を身につけることができるよう、特定研究を開設する。なお、特定研究の内容は、工学に関わる高い専門性を有するものとする。
 - 異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力、文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力を身につけることができるよう、総合演習、インターンシップを開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の3コースにそれぞれ専門科目を開設する。
 - グローバル輸送科学コースでは、世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献できる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。
 - 海洋安全システム科学コースでは、理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保ができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。
 - マリンエンジニアリングコースでは、工学に基礎を置き、海や船に関わる産業分野の発展に寄与する新たな学問分野の開拓と技術開発のために、船舶海洋関連システムの開発、設計、管理を行うことができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体

験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

また、各コースの専門性に基づいた研究指導教員による個別指導および各学年で開催される研究報告会での複数教員による研究進捗状況の把握と指導など、研究科共通カリキュラムによる指導の他、国内外の専門学会での研究成果発表・情報収集活動への参加や学会誌への論文投稿に対する積極的な教育研究支援など、高度な専門性と共に研究実施能力を育む指導によって学位論文提出へ導く体制としている。

学位:博士(学術)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、海事科学研究科博士後期課程は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通科目として必要と認める科目を開設する。各科目の主な学修目標は次のとおりとする。
 - 自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力、他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力、独創性や創造性の高い研究課題の設定・提案力、研究計画の構築力と研究実施能力、科学的論理的な思考力、専門知識の展開力と応用力、報告書の作成力とプレゼンテーション力、複眼的に思考する能力を身につけることができるよう、特定研究を開設する。なお、特定研究の内容は、幅広い専門性を有するものとする。
 - 異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力、文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力を身につけることができるよう、総合演習、インターンシップを開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の3コースにそれぞれ専門科目を開設する。
 - グローバル輸送科学コースでは、世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献できる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。
 - 海洋安全システム科学コースでは、理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保ができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。

- マリンエンジニアリングコースでは、工学に基礎を置き、海や船に関わる産業分野の発展に寄与する新たな学問分野の開拓と技術開発のために、船舶海洋関連システムの開発、設計、管理を行うことができる専門的知識学力を身につけることができるよう、専門科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

また、各コースの専門性に基づいた研究指導教員による個別指導および各学年で開催される研究報告会での複数教員による研究進捗状況の把握と指導など、研究科共通カリキュラムによる指導の他、国内外の専門学会での研究成果発表・情報収集活動への参加や学会誌への論文投稿に対する積極的な教育研究支援など、高度な専門性と共に研究実施能力を育む指導によって学位論文提出へ導く体制としている。

| | | 1年次・2年次 | | | |
|-----|---|--|--|---|---|
| | | 第1クォーター | 第2クォーター | 第3クォーター | 第4クォーター |
| 人間性 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力 ・他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力 ・専門知識の展開力 ・コミュニケーション力 ・科学的論理的な思考力 ・報告書の作成力とプレゼンテーション力 | 特定研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 論文研究Ⅰ 論文研究Ⅱ | | | |
| 創造性 | 複眼的に思考する能力 | | | | |
| 国際性 | 異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力 文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力 | 先端融合科学特論A(海事科学) 海洋資源法学 | 海洋理工学演習 インターンシップ 地域環境科学論 海洋環境気候学 海洋底物質科学 海洋底物理学 | 先端融合科学特論B(海事科学) International Maritime Sociology 海洋探査技術 | |
| | グローバル輸送科学コース： ・世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献できる専門的知識学力 | 海事行政法1 数理解析1 海事産業経営論1 船隊安全管理論1 身体運動科学1 Marine Observation Systems1 交通システム計画論1 Transport Policy, Planning and Management with Applied Mathematics 1 画像情報処理論1 知識工学1 マルチメディア論1 国際交通論1 交通経営論1 組織理論1 | 海事行政法2 数理解析2 海事産業経営論2 船隊安全管理論2 身体運動科学2 Marine Observation Systems2 交通システム計画論2 Transport Policy, Planning and Management with Applied Mathematics 2 画像情報処理論2 知識工学2 マルチメディア論2 国際交通論2 交通経営論2 組織理論2 | Transport Packaging1 海上交通管理論1 船舶運航論1 Logistics Management1 Project Evaluation1 Communication Networks 1 Mathematical Optimization1 ヒューマンインタフェース1 環境システム論1 Maritime Information Theory1 | Transport Packaging2 海上交通管理論2 船舶運航論2 Logistics Management2 Project Evaluation2 Communication Networks 2 Mathematical Optimization2 ヒューマンインタフェース2 環境システム論2 Maritime Information Theory2 |
| 専門性 | 海洋安全システム科学コース： ・理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保ができる専門的知識学力 | Applied Oceanography1 Applied Meteorology1 大気環境科学1 Ocean Safety Engineering A-1 Quantum Beam Science1 Applied Mathematical Science A-1 Comparative Planetary Science 1 | Applied Oceanography2 Applied Meteorology2 大気環境科学2 Ocean Safety Engineering A-2 Quantum Beam Science2 Applied Mathematical Science A-2 Comparative Planetary Science 2 | 水環境科学1 Conservation of Aquatic Environment1 Radiation Science and Applications1 Climate Change and Natural Hazards in the 21st Century 1 機能性材料科学1 応用数理科学B-1 海洋地球化学1 | 水環境科学2 Conservation of Aquatic Environment2 Radiation Science and Applications2 Climate Change and Natural Hazards in the 21st Century 2 機能性材料科学2 応用数理科学B-2 海洋地球化学2 |
| | マリンエンジニアリングコース： ・工学に基礎を置き、海や船に関わる産業分野の発展に寄与する新たな学問分野の開拓と技術開発のために、船舶海洋関連システムの開発、設計、管理を行うことができる専門的知識学力 | Strength Mechanics for Ship and Marine Structure1 Ship and Marine Hydrodynamics1 計算流体力学1 機関システム保全論1 Thermal Energy Conversion 1 海事基礎物理学 A-1 海事基礎物理学 B-1 Mathematics for Maritime Sciences1 | Strength Mechanics for Ship and Marine Structure2 Ship and Marine Hydrodynamics2 計算流体力学2 機関システム保全論2 Thermal Energy Conversion 2 海事基礎物理学 A-2 海事基礎物理学 B-2 Mathematics for Maritime Sciences2 | 海洋機械設計論1 圧縮性流体力学1 混相流体力学1 エネルギー環境論1 System Control Theory1 ロボット工学1 Power Conversion Engineering1 電子物性工学1 Applied Physics for Maritime Sciences1 | 海洋機械設計論2 圧縮性流体力学2 混相流体力学2 エネルギー環境論2 System Control Theory2 ロボット工学2 Power Conversion Engineering2 電子物性工学2 Applied Physics for Maritime Sciences2 |

| | | 1年次・2年次・3年次 | | | |
|-----|--|--|--|--|--|
| | | 第1クォーター | 第2クォーター | 第3クォーター | 第4クォーター |
| 人間性 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力 ・他の分野の人々と協働して課題解決にあたる能力 ・独創性や創造性の高い研究課題の設定・提案力 ・研究計画の構築力と研究実施能力 ・科学的論理的な思考力 ・専門知識の展開力と応用力 ・報告書の作成力とプレゼンテーション力 | 特定研究* | | | |
| 創造性 | 複眼的に思考する能力 | | | | |
| 国際性 | <p>異なる文化の人々と外国語で意思を通じ合える能力</p> <p>文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力</p> | 総合演習 | | | |
| | | 地球環境観測特論 地域環境科学特論A | インターンシップ ジョブ型研究インターンシップ 海洋底物質科学特論 海洋底物理学特論 | 海洋観測特論 地域環境科学特論B | |
| 専門性 | グローバル輸送科学コース： ・世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献できることのできる専門的知識学力 | 数理解析特論1 交通システム分析特論1 ロジスティクスマネジメント特論1 人工知能学特論1 マルチメディア特論1 | 数理解析特論2 交通システム分析特論2 ロジスティクスマネジメント特論2 人工知能学特論2 マルチメディア特論2 | 輸送包装特論1 海事行政法特論1 人的海事安全特論1 海上交通管理特論1 海洋情報特論1 国際交通特論1 交通経営特論1 | 輸送包装特論2 海事行政法特論2 人的海事安全特論2 海上交通管理特論2 海洋情報特論2 国際交通特論2 交通経営特論2 |
| | 海洋安全システム科学コース： ・理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保ができる専門的知識学力 | 水環境学特論1 海洋・気象学特論1 海洋安全工学特論1 放射線・粒子ビーム科学特論1 | 水環境学特論2 海洋・気象学特論2 海洋安全工学特論2 放射線・粒子ビーム科学特論2 | 海洋基礎科学特論1 | 海洋基礎科学特論2 |
| | マリンエンジニアリングコース： 工学に基礎を置き、海や船に関わる産業分野の発展に寄与する新たな学問分野の開拓と技術開発のために、船舶海洋関連システムの開発、設計、管理を行うことができる専門的知識学力 | 船舶・沿岸構造強度学特論1 船舶海洋流体力学特論1 エネルギー環境特論1 ロボット工学特論1 海事数物科学特論C-1 | 船舶・沿岸構造強度学特論2 船舶海洋流体力学特論2 エネルギー環境特論2 ロボット工学特論2 海事数物科学特論C-2 | 複雑流体力学特論1 機関システム特論1 熱エネルギー特論1 システム制御特論1 電力変換工学特論1 電子物性工学特論1 海事数物科学特論A-1 海事数物科学特論B-1 | 複雑流体力学特論2 機関システム特論2 熱エネルギー特論2 システム制御特論2 電力変換工学特論2 電子物性工学特論2 海事数物科学特論A-2 海事数物科学特論B-2 |

* 研究テーマ内容により、学位が異なる。

【学術】 幅広い専門分野の研究 【海事科学】 海事に関わる高い専門分野の研究 【工学】 工学に関わる高い専門分野の研究